

新潟県で環境試料から 高病原性鳥インフルエンザウイルスを確認

今シーズンの野鳥における鳥インフルエンザ検査で、北海道及び鹿児島県の野鳥で高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されていましたが、**11月25日、新潟県阿賀野市の環境試料（水）からもH5N8亜型のウイルスが検出**されました。

山形県でも、いつウイルスの侵入が確認されてもおかしくありません。

また、11月25日、兵庫県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。**今シーズン10例目**となる発生です。

1. 発生農場の概要

所在地：兵庫県淡路市

飼養状況：採卵鶏 14万6千羽

2. 経緯

- 11月25日：農場より、死亡鶏が増加した旨の通報を受け、立入検査を実施
インフルエンザ簡易検査陽性
遺伝子検査の結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

3. 対応

- 当該農場の飼養家さんの殺処分及び埋却
- 農場から半径3km以内を移動制限区域、3kmから10kmを搬出制限区域にそれぞれ設定
- 発生農場周辺の消毒強化と主要道路に消毒ポイントを設置

★香川県、福岡県に次ぎ、**兵庫県で初の発生**となります。

ウイルス侵入防止対策の再徹底と飼養家さんの毎日の健康観察をお願いします

- 農場での**人や車両の出入**の際の**消毒等の徹底**
- 野生動物**の農場への**侵入防止対策の徹底**
- 飼養豚を**毎日観察**し、万が一、飼養豚に異常を発見した場合は、**すぐに担当獣医師もしくは当所までご連絡ください**

最上家畜保健衛生所 電話：0233-29-1357
(休日・夜間も対応)